



JORNAL NIKKEY SHIMBUN

DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI

Rua da Glória, 332 - Liberdade CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil

左派は大統領派候補に反対

決まらぬ現議長の後任候補

次期下院議長選をめぐって、ロドリゴ・マイア下院議長(民主党・DEM)と、ボルソナロ大統領が推すアルトゥール・リラ氏(進歩党・PP)の間で、水面下での票集めのための戦いが進んでいると、17日付伯字紙などが報じている。

カギを握るPTの動き



マイア議長 (Jose Cruz)

ボルソナロ大統領は今半年から中道勢力セントロンへ接近しており、その中で最大の党で、大統領自身もかつて長期在籍していたPPの下院のリーダー格、リラ氏を推している。リラ氏は現在、セントロン以外からの票を集めようとしているが、現状ではなかなかうまくいっていない。

また、民主労働党(PDT)も、カルロス・ルビアス党首が「ボルソナロ氏に下院の主導権を渡さない」と発言し、リラ氏を推している。16日には労働者党(PT)も同党議員の会合を開き、党首でもあるグレゴリオ・ホフマン下議長が、リラ氏を推さないことを正式に発表した。

コロナ禍 8月の感染ピーク時に逆戻り

死者も聖州抜きで9336人

新型コロナウイルスの感染拡大は続き、連邦政府が全国の予防接種計画を発表した16日は、新規感染者数が過去最高の7万5744人を記録。新たな死者も9336人で2日連続の9000人を超え、16日は保健省サイトのトラブルで聖州の数字が更新されておらず、感染者は7万5744人増の704万608人、死者は9336人増の31万2156人は、感染

18万3735人となった。新規感染者は7月29日の6万9074人を上回り、初の7万人を超えた。直近7日間の平均で見た感染者は1日4万4593人、死者は677人で、死者平均は2週間前より26.5%増えた。16日は聖州の数字が登録できていないため、実際の感染者や死者はこの数字を上回る。

7日間の感染者は31万2156人は、感染拡大開始以来2番目に多かった感染史上31週(7月26日～8月1日)の31万3364人に次ぐもので、死者4740人も9月末から5月開始の水準だが、ゲテス経済相は同日、第2波は起こっておらず、緊急支援金の支給は年内限りと語った。

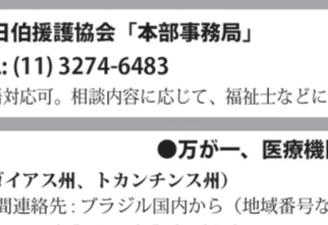
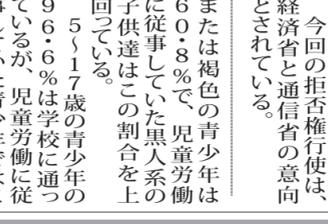
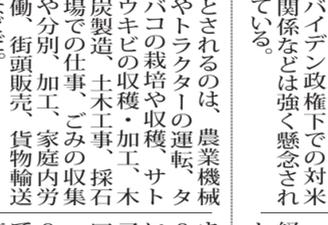
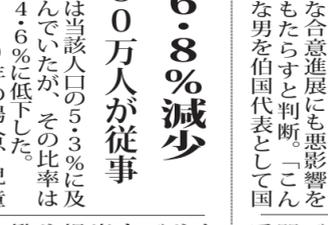
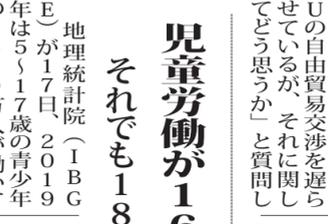
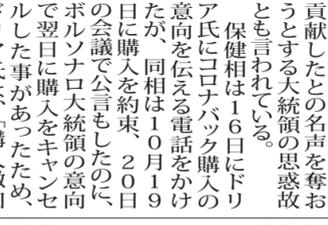
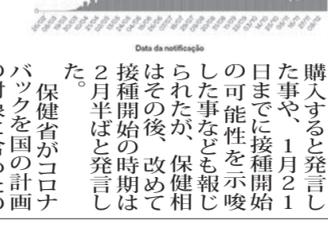
また、連邦政府が事態を深刻視している事は、司法界や議会、知事達からの圧力を受けた保健省が、全国の予防接種計画を

を公表した事からも明らかで、ボルソナロ大統領は「コロナ禍に反対する」には国と地方の一体化が必要」と説いた。

激しき増すワクチン争奪戦 コロナバツク込みで2月開始

英国や米国、カナダが予防接種ワクチンの緊急使用を始め、富裕国がワクチンを買占めたといい、報道も出ている中、保健省

初期段階ではオズワルド



新たな感染者(上)と死者の毎日の推移(保健省公式サイトより)

アラウージョ外相 推薦の国連大使、上院で大敗

米大統領選でトランプが敗北した後、アラウージョ外相は「トランプ氏に心酔するエリート」を推している。17日付伯字紙が報じている。

16日には労働者党(P.T.)も同党議員の会合を開き、党首でもあるグレゴリオ・ホフマン下議長が、リラ氏を推さないことを正式に発表した。

また、民主労働党(PDT)も、カルロス・ルビアス党首が「ボルソナロ氏に下院の主導権を渡さない」と発言し、リラ氏を推している。

17日には、労働者党(P.T.)も同党議員の会合を開き、党首でもあるグレゴリオ・ホフマン下議長が、リラ氏を推さないことを正式に発表した。

17日には、労働者党(P.T.)も同党議員の会合を開き、党首でもあるグレゴリオ・ホフマン下議長が、リラ氏を推さないことを正式に発表した。

推薦の国連大使、上院で大敗

トランプ敗戦で高まる解任の声

がコロナバツクを4500万回分購入すると発表し、1月21日まで接種開始の可能性を示唆した事など、保健省はその後、保健省がコロナバツクを国に購入する計画を発表した。保健省は「購入撤回はない」と明記した文書を18日までに送るよう求めた。

保健省は17日、Fiorucci製1500万回分、ファイザー1500万回分が1月中旬に調達可能と発表した。

保健省は17日、Fiorucci製1500万回分、ファイザー1500万回分が1月中旬に調達可能と発表した。

保健省は17日、Fiorucci製1500万回分、ファイザー1500万回分が1月中旬に調達可能と発表した。

推薦の国連大使、上院で大敗

推薦の国連大使、上院で大敗

推薦の国連大使、上院で大敗

推薦の国連大使、上院で大敗

推薦の国連大使、上院で大敗

推薦の国連大使、上院で大敗

推薦の国連大使、上院で大敗

推薦の国連大使、上院で大敗

推薦の国連大使、上院で大敗

推薦の国連大使、上院で大敗

</

関係者と青年先亡者慰霊祭

国士館に全伯から40人

志半ばで眠った仲間悼む

『2020年度コチア組合関係者およびコチア青年先亡者合同慰霊祭』が12日午前9時半から、聖州サンパウロ市の国士館大学スポーツセンター内の国士館青年広場で行われた。コロナ禍の中にも関わらず、コチア青年連絡協議会(前田進会長)の会員ら約40人が地元サンパウロ、イビウーナ、ピエダーデ、バルジエングランデ、イタベチニナ各市のほかサンパウロ市、ミナス、アマゾンなどブラジル各地から集まり、先亡者を感じた。その後、バルジエングランデの「フッフエ美」に会場を移して恒例の忘年会を行い、再会を祝した。



2020年度コチア組合関係者およびコチア青年先亡者合同慰霊祭

コチア組合



「日茶社会存続のためにコチア青年が中心になって最後の社会奉仕をしてもらいたい」と熱弁を振るう協賛評議員会長の菊地義治

「おや、おや、おや」といって、真つ青に晴れ上がった空の下、右に下元健吉・コチア組合長が挨拶した。

「おや、おや、おや」といって、真つ青に晴れ上がった空の下、右に下元健吉・コチア組合長が挨拶した。...

たんぽぽ学園に寄付募る

駐在員帰国、コロナで経営難

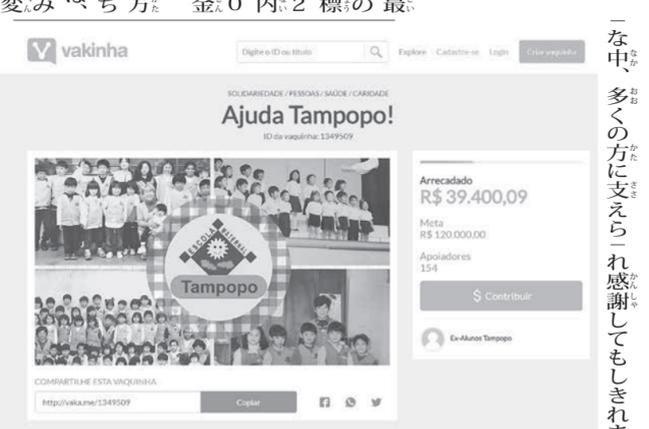
「既報関連」本紙7月28日付け「コロナ禍」駐在家族9割帰国で大規模な打撃を受けたたんぽぽ学園。...

「既報関連」本紙7月28日付け「コロナ禍」駐在家族9割帰国で大規模な打撃を受けたたんぽぽ学園。...

「既報関連」本紙7月28日付け「コロナ禍」駐在家族9割帰国で大規模な打撃を受けたたんぽぽ学園。...

「既報関連」本紙7月28日付け「コロナ禍」駐在家族9割帰国で大規模な打撃を受けたたんぽぽ学園。...

「既報関連」本紙7月28日付け「コロナ禍」駐在家族9割帰国で大規模な打撃を受けたたんぽぽ学園。...



たんぽぽ学園寄付サイト

「既報関連」本紙7月28日付け「コロナ禍」駐在家族9割帰国で大規模な打撃を受けたたんぽぽ学園。...

「既報関連」本紙7月28日付け「コロナ禍」駐在家族9割帰国で大規模な打撃を受けたたんぽぽ学園。...

「既報関連」本紙7月28日付け「コロナ禍」駐在家族9割帰国で大規模な打撃を受けたたんぽぽ学園。...

Dr. MONICA Y. MORISHITA
Biomédica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura
LIBERTY - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp"
E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

白浜 清輝
熊本 2次6回
ミナス・ジェライス
電話 35-3431-1210

早坂幸治 (九十二歳) 儀
去る十二月十日、聖州イタナエン市の自宅にて永眠いたしました。...

作子 喜恵
山形 1次9回
サンパウロ
電話 11-5599-3290

菊地 義治
岩手 1次9回
サンパウロ
電話 11-3274-6484

死亡通知並びに厚誼御礼
早坂幸治 (九十二歳) 儀
去る十二月十日、聖州イタナエン市の自宅にて永眠いたしました。...

年末年始の感染拡大に警告

病床不足は内陸部でも深刻

後方から被害者に襲い掛かる暴漢 (9日付G1サイトの記事の一部)



年末年始の感染拡大に警告。病床不足は内陸部でも深刻。医療体制の充実度を高めるために、集中治療室の外で死亡した患者の割合を減らす必要がある。...

電商でクリスマス商戦盛況? 売上予想を3.4%増に変更

全米財・サービス・観光業連合(CNNC)が15日、今年度のクリスマス商戦の売上は昨年比で3.4%増との予想を発表した。

この数字は、昨年比で2.2%増という従来の予想を見直したものだ。CNNCでは、オンライン販売(電商)が増え、全体を押し上げると見込んでいる。修正後の予想が的中すれば、2017年以来的大幅成長となる。

リオのカーニバル出場順を発表

7月11、12の両日にリオ市のエスコラ・デサン・パウル・グループ(Desafio)が14日午後11時から15日午前12時の両日に予定されているカーニバルの出場順を発表した。

リオ市のエスコラ・デサン・パウル・グループ(Desafio)が14日午後11時から15日午前12時の両日に予定されているカーニバルの出場順を発表した。...

パンデミックで心身症増加 過重な不安心理から体調不良に

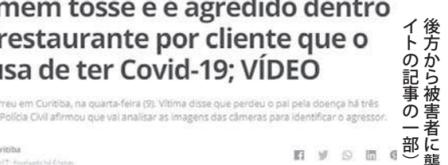
新型コロナウイルスのパンデミックの中、心身症で痛みや体調不良を訴える人が増えている。...

新型コロナウイルスのパンデミックの中、心身症で痛みや体調不良を訴える人が増えている。過重な不安心理から体調不良に陥るケースが増えている。...

「コロナ拡散するぞ!」と怒る客から レストランで咳して飛び蹴り食らう

新型コロナウイルスの感染再拡大。レストランで咳して飛び蹴り食らう。...

レストランで咳して飛び蹴り食らう。新型コロナウイルスの感染再拡大。客の怒りや暴力行為が報告されている。...



Homem tosse e é agredido dentro de restaurante por cliente que o acusa de ter Covid-19; VÍDEO

「俺も3カ月前に父親をコロナで失ったんだから、暴力を振るうのが当たり前のことだ」と怒る客から。...

「俺も3カ月前に父親をコロナで失ったんだから、暴力を振るうのが当たり前のことだ」と怒る客から。レストランで咳して飛び蹴り食らう。...

ワクチン問題が政権存続左右する 保健相との会議前に知事が明言

保健相との会議前に知事が明言。ワクチン問題が政権存続を左右する可能性がある。...

リトのカーニバル出場順を発表

リトのカーニバル出場順を発表。7月11、12の両日にリオ市のエスコラ・デサン・パウル・グループが発表。...

6歳の少女が感謝を込めて

6歳の少女が感謝を込めて。ソフィアちゃんが朝食のサプライズを届けた。...

ネットワークサービスで地域に貢献している人達

ネットワークサービスで地域に貢献している人達。ソフィアちゃんもその一人。...

海底ケーブル設置 作業開始

海底ケーブル設置 作業開始。欧州と光ファイバーで繋ぐ。...



デジタルトランスフォーメーション。ホットな話題をJURE。...

6歳の少女が感謝を込めて

6歳の少女が感謝を込めて。ソフィアちゃんが朝食のサプライズを届けた。...

ネットワークサービスで地域に貢献している人達

ネットワークサービスで地域に貢献している人達。ソフィアちゃんもその一人。...

海底ケーブル設置 作業開始

海底ケーブル設置 作業開始。欧州と光ファイバーで繋ぐ。...

海底ケーブル設置 作業開始

海底ケーブル設置 作業開始。欧州と光ファイバーで繋ぐ。...

特別寄稿

世阿弥 『風姿花伝』 から 「後悔のない老後人生」を学ぶ

サンパウロ・ヴィラカロン在住 毛利律子



世阿弥像 (正法寺蔵) ©Public Domain

70歳以上の高齢者が「人生で後悔している」と、それは...

「これまでの人生で後悔していることは？」という問いに、男女別に集めた回答の中で70%の高齢者が「自分の人生を振り返って後悔している」と、それは歴史から何も学ばなかったこと、この年であらゆるお金があつて食べることにも困らない。無難な老後、安全、幸福と信じて、人生最後の生きる価値を求めて日々チャレンジをしながらつと。何か生き甲斐を見つけて、身近なこと、誰かのために、何かをしたいと思つた矢先に足腰が立たなくなった。お金は病院通いで使い果たし、孤

独で、空しく生きていくというのである。確かに若い時期の後悔は人生の糧となり、その失敗から「悔い改め、学び直して、人生を再構築する」ことができる。仏教で教えるところの「後悔」とは、人生の最期に、「戻ることできない思い残しを悔やむこと」をいう。常に「臨終を想いて励むべし」ということを厳しく問う所以である。しかし、いつの世も、人間はそのような思いを繰り返して、道半ばにして人生を終る。今からでも遅くない。聖人・哲人の究極の人生論を再読してみた。

「初心をへからず」 この言葉は、学校の入学式や会社の新入社員向けに送られることが多

いが、あらゆる場面であらゆる日本人が好んで使う言葉の一つである。

世阿弥

これは室町時代初期の能の大成者・世阿弥「世阿弥」の「論語」と並び登場する。世阿弥が、38歳から書き始め、人生を7段階に分けて、その段階ごとに突きたる試練や難関を、いかに美しく乗り越えるか、という究極の人生訓として、56歳の時に書き上げた。この能楽の聖典は、1909(明治42)年に吉田東伍によって翻刻(写本・版本などを、原本どおりに活字に組むなどして新たに出版すること)された。500年間の、全

「後悔」とは、人生の最期に、「戻ることできない思い残しを悔やむこと」をいう。常に「臨終を想いて励むべし」ということを厳しく問う所以である。しかし、いつの世も、人間はそのような思いを繰り返して、道半ばにして人生を終る。今からでも遅くない。聖人・哲人の究極の人生論を再読してみた。

して書かれた秘伝であり、今日では日本を代表する能楽論、芸術論であり、教育論、人生論など人の生き方の美学を網羅した不滅の一書と言われ、日本人に最も影響を与えた孔子の「論語」と並び登場する。

世阿弥

世阿弥が、38歳から書き始め、人生を7段階に分けて、その段階ごとに突きたる試練や難関を、いかに美しく乗り越えるか、という究極の人生訓として、56歳の時に書き上げた。この能楽の聖典は、1909(明治42)年に吉田東伍によって翻刻(写本・版本などを、原本どおりに活字に組むなどして新たに出版すること)された。500年間の、全

観阿弥・世阿弥親子によつて室町時代に確立された「能」は、能面という仮面をつけ、重厚な衣装を纏って演じる。音楽・踊り・演劇を融合させたミュージカルやオペラに近い歌舞劇である。継承されている演劇として「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で、2008年にユネスコの世界無形文化遺産に指定された。

これを夢幻(まぼろし)という。現実の世界で起る事件や出来事を題材として描かれる能は、虚(うつろ)た者、怨恨、貧困や病苦、非業の死を遂げた弱者に優しく寄り添い、もう一度彼らの魂を現実世界に戻す「現在能」がある。

世阿弥

世阿弥の「風姿花伝」は、シエクスピアが登場する200年も前ということになる。江戸時代まで「猿楽」と呼ばれ「能楽・狂言」と総称されるようになったのは明治時代以降である。明時代以降でいうこと、天狗や亡者、幽霊、動物物の精霊、神といった超自然的な存在を表現し、踊り手「シテ」は人間界と異世界の「境界」を衣装で表している。

観阿弥・世阿弥親子によつて室町時代に確立された「能」は、能面という仮面をつけ、重厚な衣装を纏って演じる。音楽・踊り・演劇を融合させたミュージカルやオペラに近い歌舞劇である。継承されている演劇として「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で、2008年にユネスコの世界無形文化遺産に指定された。

阿弥は何を伝えようとしているのか。「初心」という言葉は、「人生で逃れられない試練の乗り越え方の対応策・戦略である」ということを示している。

世阿弥

世阿弥は新しい言葉を生み出す天才と伝えられている。「初心をへからず」に始まり、人生を「花」にたとえた言葉の数々は、「風姿花伝」のキーワードになっている。これらの言葉で、世阿弥は何を伝えようとしているのか。「初心」という言葉は、「人生で逃れられない試練の乗り越え方の対応策・戦略である」ということを示している。

世阿弥は新しい言葉を生み出す天才と伝えられている。「初心をへからず」に始まり、人生を「花」にたとえた言葉の数々は、「風姿花伝」のキーワードになっている。これらの言葉で、世阿弥は何を伝えようとしているのか。「初心」という言葉は、「人生で逃れられない試練の乗り越え方の対応策・戦略である」ということを示している。

歳とともに、その時々で積み重ねていくものを「時々の初心」という。「若い頃から、最盛期を経て、老年に至るまで、その時々にあつた演じ方をすることが大切だ。その時々を演じてしまつては、次に演ずる時に、身についたものは何も残らない。過去に演じた「ひとりの風体」を、全部身につけておけば、年月を経れば、全てに味ができるものだ。これはすなわち、失敗や試練を乗り越える経験の少ない者は大成しない。人間にはいつも試練が襲うが、「自分の未熟さを知りながら、以前の試練を乗り越えた時の知恵を思い出し、新しいことに挑戦すること」を指している。

世阿弥

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

「時節感当(人生のチャンスを逃すな)」とは、能役者が、楽屋から舞台に向かい、幕が上がり、橋掛かりに出る瞬間を言う。幕がパッと上がり、役者が見え、観客が役者の声を待ち受けている。その心の高まりをうまく見計らって、絶妙なタイミングで声を出すことを「時節感当」と言う。これは、タイミングをつかむ

世阿弥

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

この重要性を語ったもので、どんなに正しいことを言っても、タイミングをはずせば無となる。タイミングが人々の心の動きのことだとすれば、それを逸すのは、まさに適時を掴めない自分の落ち度となる。

世阿弥

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

大きな勝負に備えよ。なぜなら、それは女時の時であるから。むしろ、「男時」がかかるのを待ち、そこで勝負に行け、というのである。

世阿弥

世阿弥は「男時・女時」の時流は、避けることのできなない宿命と捉え、「よき時あれば、必ず、また、悪きことあり。これ力なき因果なり」。そして「信あらば徳あるべし」「信じていれば、必ず、いいことがある」のだから、力を発揮する時の潮目を見逃すなどとい

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

誰も知らない自分の芸の秘密、いわゆる秘伝を持つこと。これをいたすにはひけらかすことは控え、いざという時の技とすれば、相手を圧倒することができる。

世阿弥

世阿弥は「男時・女時」の時流は、避けることのできなない宿命と捉え、「よき時あれば、必ず、また、悪きことあり。これ力なき因果なり」。そして「信あらば徳あるべし」「信じていれば、必ず、いいことがある」のだから、力を発揮する時の潮目を見逃すなどとい

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

「老い」の美 「老骨に残りし花」とは、むしろ老いてこそ、さらに完成を目指して咲かせる花のことである。この自覚がないと、老人は単なる自己満足の塊となる。世阿弥は、「稽古は強かれ、情識は無かれ」とは、「稽古の厳しさを忘れず、心にすることなれ」と叱咤する。

世阿弥

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

「老い」による人生の完成である。その完成の姿を世阿弥は『至花道』という伝書でさらに追及する。

世阿弥

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

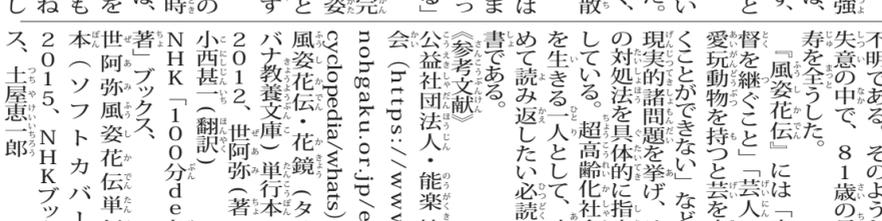
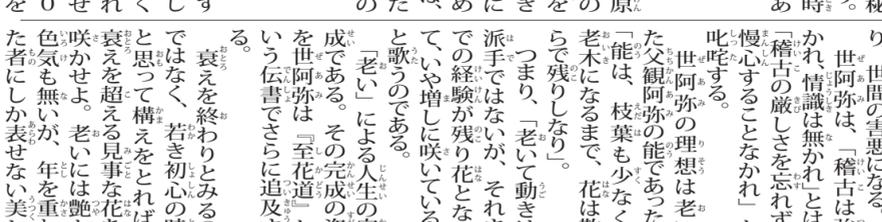
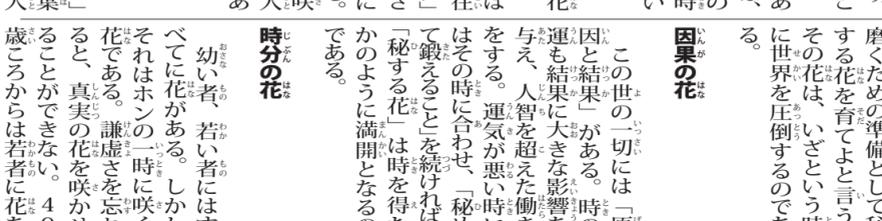
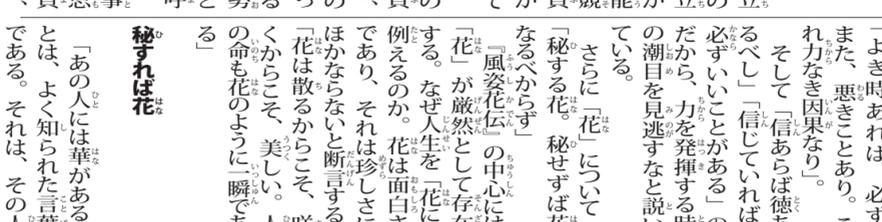
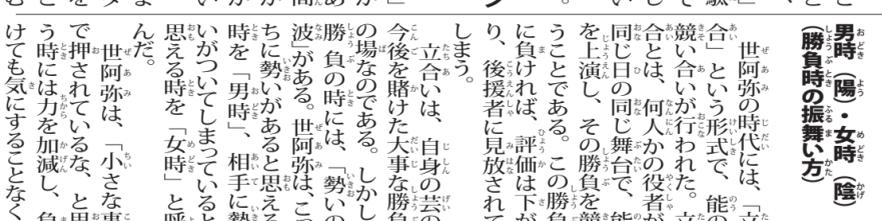
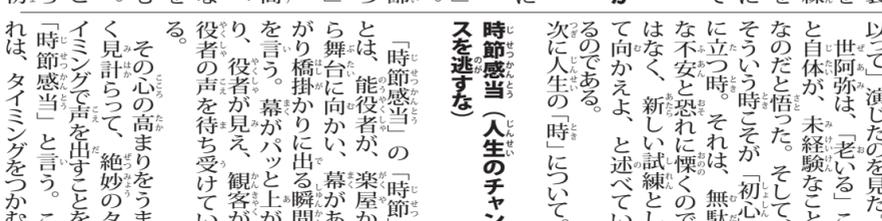
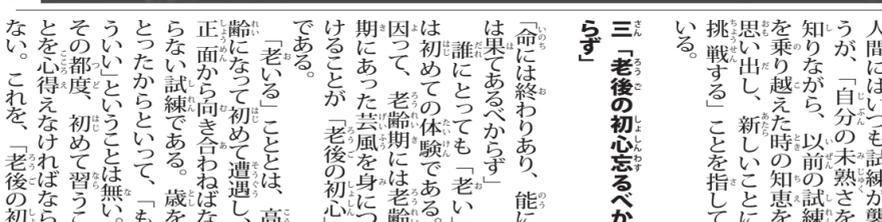
世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

「老い」による人生の完成である。その完成の姿を世阿弥は『至花道』という伝書でさらに追及する。

世阿弥

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。

世阿弥は「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。世阿弥は、「老い」こと自体が、未経験なことと自らを、未経験なことと自覚する。



風姿花伝 二道 竹本幹夫 著 現代語訳付き (世阿弥著、竹本幹夫翻訳、角川学芸出版、2009年)

